

課外クラブの活動の様子

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止として、活動日の減少や活動時間の短縮などがあったほか、外部の大会に参加出来る機会も少なくなりましたが、日々の活動では今出来ること、必要とされていることに焦点を当ててきました。

2～3年生の活動では、お友だちと競い合う楽しさが感じられるような運動、用具を使って日常の遊びの延長となるような運動をしてきました。1人では勇気が出ないことも、お友だちと一緒に前向きに挑戦出来ます。



両足で跳び箱に跳び乗ります



平均台を連続ジャンプで跳び越えます

4～6年生の活動では、不整地での追いかっこや接触を伴わない鬼ごっこなどで、この1年間機会が減少してしまったグループでの運動を行ってきました。



不整地で足腰とバランス力を鍛えます



腰のタグを取り合う鬼ごっこです

専門的な練習も行ってきました。ある活動日には、数 m 先にあるマーカーを掴むという運動からスタートの姿勢を学習しました。タイムに大きく関係する加速の局面の練習です。



上半身を低く保ち、倒れこむようにして走ります

異学年と共に活動する課外クラブの活動をきっかけに、子ども同士の交流が自然と生まれ、広がっています。お互いを認め、支え合う経験が小学生の時期には欠かせません。

運動に関する能力を伸ばすだけでなく、子どもの社会を広げ、認め合う場として、これからも課外クラブの活動は続いていきます。